



3/4 道路や橋を造る機械の乗車体験 乗ってみよう はたらくクルマ

乗ってみよう はたらくクルマ(岩手県建設業協会女性協議会北上支部主催)は、hoKkoで開催されました。建設機械の乗車体験を通じて建設業への理解を深めてもらおうと企画。今回はミニカーコーナーも設置され、市内外の親子連れでにぎわいました。きょうだいで参加した小島帆菜ちゃん(暁の星幼稚園・5歳)と弟の天明君(2歳)は「本物の機械はカッコいいし、触れて楽しい」と目を輝かせていました。



3/8 寄席の文化を味わい20年 きたかみ本牧亭20周年記念寄席

北上商店街連合会(阿部眞希男会長)主催の、きたかみ本牧亭20周年記念寄席は、さくらホールfeat.ツガワで開催されました。商店街への寄席開設時は若手だった4人の落語家、講師がベテランの芸を披露。満席の会場からは何度も笑いが湧き起こりました。

きたかみ本牧亭のきっかけを作った一人、北上ふるさと会名誉会長の折笠英夫さん(東京都・85歳、口内町出身)は「20年も続き感無量だ」と話していました。

3/2 災害に備え、迅速な対応を訓練 令和7年春季災害防御訓練

令和7年春季災害防御訓練は、花巻農業協同組合江釣子支店駐車場周辺で実施されました。地震による火災を想定した訓練に消防団員ら約270人が参加し、ポンプ車8台による消火活動や、ドローンを使った上空からの情報収集が行われました。

北上地区消防組合の昆野美継警防課長は「実際の災害時に成功するための訓練であることを忘れず、今後活動に取り組んでほしい」と講評しました。



3/7 立花地区交流センターが受賞 第77回優良公民館表彰

文部科学大臣表彰「第77回優良公民館表彰」を受賞した立花地区交流センターの管理・運営を担う立花自治振興協議会が市本庁舎を訪れ、受賞の喜びを報告しました。地域住民の防災意識向上や世代間交流を通じた担い手育成が評価されました。

同自治振興協議会の菊池明彦会長は「活動が認められてうれしい。今後の活動につなげたい」と意欲を語りました。



まちの話題

市内の話題を紹介

3/3

みやびな飾りあちこちで

岩崎地区で子どもたちが地蔵っ子見

岩崎2区の夏油集落で80年以上前から続くといわれる「地蔵っ子見」は、同集落内で行われました。ひな祭りの日に子どもたちが家々を訪問し、飾られているおひなさまを見てお菓子をもらう地域行事です。

今年は、同集落に住むいわさき小の児童4人が、古民家Cafe kobiru含む約30軒を訪問。高橋凌生君(6年)は「大小さまざまなおひなさまが飾られています」と楽しんでいました。



また、博物館本館では1月25日から3月9日まで「春の人形展」が開催され、江戸時代の珍しい大きさの「黒沢尻の大ひな人形」が来館者を迎えたほか、元禄びなや立ちびなが展示されました。



2/23 冬の味覚を展勝地でホットに満喫 展勝地冬まつり

展勝地冬まつり(同まつり実行委員会主催)は、展勝地レストハウス前の駐車場で開催されました。来場者は、地元産牛肉を味わえる炭火焼き肉や、お遊びコーナーのモルックやストラックアウトなどを楽しんでいました。

友人と訪れた小竹光さん(奥州市)は「コロナ禍で野外の飲食イベントに参加できなかったが、こうして楽しめるのはうれしい」と笑顔を見せていました。



2/21 ともしび号が駅東口に登場 ともしび号ステーションの新設

市の自動車文庫「ともしび号」の巡回場所に、北上駅東口前の交流広場「さくらPORT・スクエア」が加わりました。同広場はイベント会場としても多くの人が集まる場所です。

広場を管理するさくらPORT・TOWN(株)の鈴木聖子さんは「働く人も昼休みに本を借りられる。キッチンカーの出店もあり、相乗効果でにぎわってほしい」と期待を寄せていました。